

ToMMo NEWS LETTER

宮城県内には35の市町村と県、合わせて36の自治体があり、ToMMoは長期にわたる関係を築いています。8月に山本機構長が訪問した大衡村は宮城県唯一の村、新任の小川 ひろみ村長にご挨拶すると共に、コホート調査のデータから見てきた大衡村における健康課題について話し合いました。大きなデータとしての東北メディカル・メガバンク計画が注目されますが、特定の地域の課題にも迫れることも大きな価値の一つです。

vol. **47**

TOPICS

大衡村 小川 ひろみ村長を訪問

8月3日(木)、ToMMoの山本 雅之機構長らが、大衡村役場を訪ね、小川村長と面談をしました。今回の訪問では、山本機構長から当計画へのご協力と大衡村からご参加いただいている村民の方々への御礼のほか、事業の概要とこれまでの成果についてお話をしました。小川村長からは村独自で取り組まれている健康づくりのご紹介と、健康に対して少しずつの積み重ねが大切なのでそれを目に見える形にしていきたい、というお話をいただきました。面談では脳卒中や認知症など、大きな健康課題について幅広い意見交換が行われ、今後も継続して協力関係を築いていくことが話し合われました。



遺伝情報回付の進捗

ToMMoはコホート調査の参加者に対して遺伝情報の解析結果をお伝えする遺伝情報回付のパイロット研究を三度にわたり実施してきました。その研究をもとに、2022年度から5万人の全ゲノム解析情報に基づいた遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)とリンチ症候群の大規模な遺伝情報回付に取り組んでいます。8月30日(水)の時点で、110名(男性33名、女性77名)の方が研究に参加され、結果を予防などに活かしていただいています。

最近、国会でゲノム医療推進法が可決され、その中で、患者の方々のみならず研究開発に協力してゲノム情報を提供した一般の方々への支援の必要性も謳われています。ToMMoの取組がその先駆的な事例となるよう進めて参ります。



参考 映像「遺伝子の検査の結果から～『特別な対応は必要ない』といわれたときに」

遺伝情報回付に際して、解析の結果、対象となる領域から病的な変異が見つからなかった方々に向けて、現時点で「特別な対応は必要ない」とされたことの意味を、札幌医科大学の櫻井 晃洋教授らにご出演・ご監修いただいた映像で、詳しく説明しています。

動画はこちら ▶



2023.07.14

脳と心の健康調査のデザインおよび成果などを報告した論文が掲載

ToMMoの脳と心の健康調査(脳MRI研究)のデザインと成果を記した論文が日本医師会のJMA Journal誌に掲載されました。本論文は、2014年から始められたこの研究の背景、目的、デザイン、データマネジメントについて扱うと共に、2019年までに12,000人以上の人々から、脳のMRI画像と認知能力や心理状態のテスト結果を収集した成果の一部についても報告しています。研究では、脳萎縮の指標となる、総灰白質体積と左右の海馬体積が年齢が高くなると減少すること、および、65歳以上の計3,610人に実施した認知機能の検査の結果から、約16%の方が認知機能低下の可能性があることが明らかとなりました。

Makiko Taira, et al. Tohoku Medical Megabank Brain Magnetic Resonance Imaging Study: Rationale, Design, and Background. JMA J., 6, 246-264, 2023.

2023.07.27

仙台市立加茂中学校科学部の皆さまが来訪

7月27日(木)、仙台市立加茂中学校科学部2,3年の皆さま13名(生徒11名、引率教員2名)が、校外活動の一環でToMMoを来訪されました。長神 風二広報戦略室長と勝岡 史城シークエンスデータ室長の案内で、スーパーコン

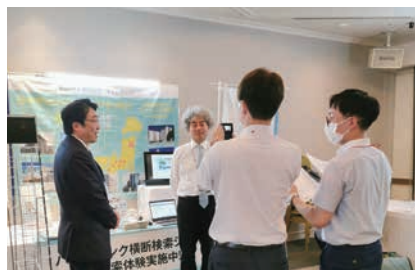
ピュータ、バイオバンク、シークエンス解析設備、地域支援仙台センターを見学しました。最先端の研究現場に触れていただき、皆さまが進路選択を考えていく上で何かしらのきっかけの一つになれば、と期待します。



2023.07.28

第8回クリニカルバイオバンク学会シンポジウムに出席

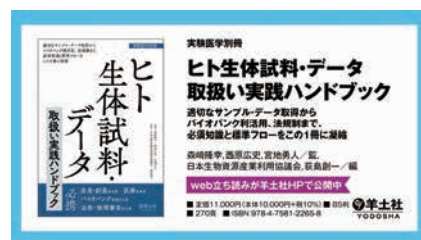
2023年7月28日(金)～29日(土)に、三井ガーデンホテル千葉で開催された「第8回クリニカルバイオバンク学会シンポジウム」に参加し、ブース出展などを行いました。ブース展示は、ToMMoが中心となって推進している日本全国のバイオバンク・ネットワークの構築事業を紹介し、開発したバイオバンク横断検索システムのデモンストレーションなども行いました。シンポジウムは第30回日本遺伝子診療学会大会と併催で盛況となり、ToMMoからも複数の教員が口頭・ポスターの発表を行いました。



2023.08.02

実験医学別冊「ヒト生体試料・データ取扱い実践ハンドブック」が発刊

ToMMoの荻島 創一教授が編集し、多数のToMMoメンバーが執筆した実験医学別冊「ヒト生体試料・データ取扱い実践ハンドブック」が8月2日(水)に羊土社より発刊されました。適切なサンプル・データ取得やバイオバンク利活用、法規制などについてまとめられ、「バイオリポジトリ分野の専門知識・技術を認定する要員認定資格」であるバイオリポジトリ技術管理士の教科書にもなっています。ぜひご覧ください。



感謝を込めて

東北大学は故吉村 しげを氏から大きなご遺贈を受けております。ToMMoやINGEMが中心となって進める未来型医療・個別化ヘルスケアの構築にあたっては、ご遺贈をもとにした基金からご支援をいただいています。8月2日(水)、仙台市青葉区郷六葛岡のご墓所に、山本機構長らが伺い、事業の進捗を墓前報告しました。今後も、ご遺志にかなうような成果をあげられるように努めて参ります。

EDITOR'S NOTE

国立科学博物館におけるクラウドファンディングが話題になっていますが、私たちも財政基盤の多角化は求められており、広く寄附をお願いする、ということもその一環として取り組んでいます。“地域とToMMoに基金”については何度かこの紙面でご紹介していますが、この基金ができる数年前に、篤志家の方から「未来の医療のために」と大きなご遺贈を東北大学にいただきました。今号で墓前報告を取り上げた通り、多くの方に支えられたこの事業が、少しでもご遺志に応えられたなと思います。(F.N)

本紙の詳細はウェブでご覧ください
▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/news



メールマガジン「ToMMo News Mail」配信中
▶ forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA



「地域とToMMoに基金」のご案内
▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/kikin



ToMMo NEWS LETTER Date of publication Sep, 2023

Published Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization Editor in chief Fuji Nagami Designer Miho Kuriki

TEL 022-717-8078 E-mail tommo@pr.megabank.tohoku.ac.jp URL www.megabank.tohoku.ac.jp © Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization